

英語科

第1学年

指導者

単元名

PROGRAM 3 ウッド先生がやってきた

本単元で育成する資質・能力

表現力

令和2年7月9日 第1学年

研究主題 自己効力感を高め、確かな「思考力」「判断力」「表現力」を持った児童生徒の育成
～めあてと振り返りをつなげる授業づくりを通して～

1 単元観

【学習指導要領との関連】

本単元は、学習指導要領 主として英語の目標(4)話すこと[発表]のイ「日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。」にあたる。学習指導要領にも示されているとおり、「日常的话题」とは、生徒自身や家族に関する事、生徒の興味・関心の対象となることを表している。

また、本単元では、日本の中学校にやって来たALTが、自己紹介を行ったり、生徒との趣味のやりとりをする題材となっている。本校でも、新しいALTが赴任して、1ヶ月。生徒にとって身近な題材であると同時にお互いの文化や生活を尊重する態度を育成できる単元となっている。

言語材料は like, play 等の一般動詞を用いた肯定文、疑問文とその応答、そして否定文を扱う内容となっている。この単元は、小学校での外国語活動でも学習した内容であり、小学校での学習と関連付けた単元となっている。

2 生徒観

【既習単元での実態】

本学年の生徒とは、小学校の6年時に週1回外国語の授業に出向き、授業をしていたこともあり、自然とコミュニケーションをとることができ、英語学習にも興味関心を持っている生徒が多く、積極的に学習に向かう姿勢が見て取れる。特に「英語を話したい。」という意欲が感じられ、インタビュー活動等では、積極的にペア活動を行っている。学習指導要領の話すこと[やり取り]の観点においても、自然なあいさつ、うなずき等、身振りを交えて行うなどの工夫をする姿が見られる。2週間前に行ったアンケートでは、「英語の授業では、小学校外国語活動が役に立っています。」という設問に対して、「はい」と答えた生徒は、93%であった。小学校の外国語活動と中学校の英語科の授業がスムーズに生徒たちの中ではつながっており、前述したとおり、ペア活動の積極性や音読等の声の大きさにつながっていると考える。

3 指導観

(1) 本単元のねらいを達成するための手立て

本単元の指導に当たっては、小学校外国語活動で学習した事項を基盤におき、様々な一般動詞を用いることで、表現の幅が広がることを生徒に感じさせ、「表現したい」という意欲から一段階上げ、「正しい英文を表現したい」というレベルにつなげる指導を行いたい。そのために、英文の正確さはもちろんのこと、話し手としてはアイコンタクトや適度なスピードを意識すること、聞き手としては、メモを取る、うなづく等の態度を意識させて、単元最後で行うスピーチ活動につなげていきたい。

(2) 資質・能力を育成するための手立て

	資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿（◇）と 育成するための支援・工夫（・）
スキル	表現力 コミュニケーション能力	◇一般動詞を用いて、自分のことを紹介する英文を作成し、スピーチ活動を行う。 ・君田小・中学校一貫教育 学力向上部会で作成した「資質・能力」基準表にある中学校1年生でのレベルに達成するという意識を持たせ、表現すること、コミュニケーション能力の育成をめざす。英文を作成中、分からない表現等は辞書を使用させることで、自ら調べたことが表現力に生かせるという達成感を持たせる指導を徹底することで、辞書が身近な存在であるということに気づかせ、表現の育成に一助にしたいと考える。

(3) 学習に用いる文法事項

一般動詞を使った肯定文・疑問文・否定文

4 単元目標

○自分のことを表現したり、相手からの情報を得たりする活動に意欲的に取り組む。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○I like, play, eatなどの一般動詞を用いて、自分の好き嫌いなどについて自己紹介できる。

【外国語表現の能力】

○Do you～?を用いて、相手の好きなものや日常することについて質問したり、応答したりできる。

【外国語表現の能力】

○一般動詞の肯定文・疑問文・否定文の用法を正しく理解する。【言語や文化についての知識・理解】

5 単元の評価規準

外国語への関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<p>① 自分の好きなこと嫌いなことについてスピーチを意欲的に行っている。</p> <p>② 他者のスピーチについて、英語を用いて質問を行っている。</p>	<p>① 一般動詞を用いた肯定文・疑問文・否定文の形・用法を理解し、正しく表現することができる。</p> <p>② 一般動詞を用いて自己紹介文を英文で書くことができる。</p> <p>③ 作成した自己紹介文を作成した評価規準に従って、正しくスピーチを行うことができる。</p>	<p>① 一般動詞を用いた肯定文・疑問文・否定文が使われている英文の内容を理解している。</p>	<p>① 一般動詞を用いた肯定文・疑問文・否定文の形・用法を理解している。</p> <p>② 一般動詞を用いた疑問文に対する応答の形・意味・用法を理解している。</p>

6 単元計画

(1) 単元構想図

評価規準を意識して，一般動詞を用いて自己紹介を英語で行う。

課題発見

- ・一般動詞を用いて，自己紹介を英語を使って行う。
- ・生徒全員で確認した評価規準を意識して，スピーチを行う。

自己紹介のスピーチ活動を通して，英語で質問したり応答したりする。

文法事項の習得（6）

- 一般動詞を用いた肯定文の形・意味・用法を理解する。
- 一般動詞を用いた疑問文の形・意味・用法及び応答の仕方を理解する。
- 一般動詞を用いた否定文の形・意味・用法を理解する。

自己紹介文の作成（2）

- ・教師のモデルの提示
- ・教師のモデルに対して，英語で質問
- ・自己紹介文を7文以上で作成

ワークシートの活用

スピーチ活動（1）

- ・作成した自己紹介をスピーチ形式で発表する。
- ・評価規準を生徒たちの中で，決定する。

スピーチ原稿の活用

振り返り（1）

- ・スピーチ後の振り返り。
- ・他者からの助言をもとに，改善点を意識して少人数で再度スピーチを行う。

(2) 単元計画 (全10時間)

次	時	学習活動 資質能力の重点 資質・能力の重点	評価観点				◇評価規準 (評価方法) ★資質・能力の評価 (評価方法)
			関 心	表 現	理 解	知 理	
第一 次	2	○一般動詞を用いた肯定文の文法的事項を理解し、一般動詞を用いて簡単な英文を作成する。(1) ○Part 1の本文の内容を理解する。(1)		○		○	◇一般動詞を用いた肯定文の形・用法を理解している。(観察) ◇一般動詞を用いた肯定文の形・用法を理解し、正しく表現することができる。(ノート)(評価カード) ◇一般動詞を用いた肯定文が使われている英文の内容を理解している。(観察)
第二 次	2	○一般動詞を用いた疑問文とその応答の形を理解する。(1) ○Part 2の本文の内容を理解する。(1)				○	◇一般動詞を用いた疑問文の形・用法を理解している。(観察) ◇一般動詞を用いた疑問文が使われている英文の内容を理解している。(評価カード)
第三 次	2	○一般動詞を用いた否定文の形を理解する。(1) ○Part 3の本文の内容を理解する。自分のしないことを英文で作成する。(1)		○		○	◇一般動詞を用いた否定文の形・用法を理解している。(観察) ◇一般動詞を用いた否定文の形・用法を理解し、自分のしないことについて正しく表現することができる。(ノート)(評価カード) ◇一般動詞を用いた否定文が使われている英文の内容を理解している。(観察)
第四 次	2	○教師やALTの自己紹介文を聞き、内容を理解し、Do you～?を用いて、英語で質問する。(0.5) ○自己紹介文を7文で作成する。(1.5)	○				◇他者のスピーチについて、英語を用いて質問を行っている。(観察) ◇一般動詞を用いて自己紹介文を英文で書くことができる。(ワークシート)
第五 次	1	○作成した自己紹介をスピーチ形式で発表する。(本時)(1/1)	○			○	◇自分の好きなこと嫌いなことについてスピーチを意欲的に行う。(観察) ◇他者のスピーチについて、英語を用いて質問を行っている。(観察) ★作成した自己紹介文を作成した評価規準に従って、正しくスピーチを行うことができる。(表現力)
第六 次	1	○他者からの助言をもとに、改善点を意識して、少人数で再度スピーチを行う。(1)	○				◇自分の好きなこと嫌いなことについてスピーチを意欲的に行う。(観察)

7 本時のねらい

(1) 本時の目標

- ・自分の好きなこと嫌いなことについてスピーチを評価規準に従って意欲的に行うことができる。
- ・他者のスピーチについて、英語を用いて質問を行うことができる。

(2) 本時の評価規準

- ・自分の好きなこと嫌いなことについてスピーチを意欲的に行う。
- ・他者のスピーチについて、英語を用いて質問を行っている。

(3) 準備物 ・教科書 評価シート

8 学習の展開 (本時 9 / 10)

分	学習活動	○主な発問や指示 ・予想される生徒の反応	☆指導上の留意点 ◆個別の支援対象生徒への手立て ◇評価規準 (方法) ★資質・能力
8分	○あいさつを英語で行う。 ○リスニング問題を行う。		
35分	1 本時の目標を確認する。		
評価規準に従って、スピーチ活動を意欲的に行う。			
2 評価規準の確認をする。			
○生徒全員で、スピーチ活動の評価規準を決定確認する。 ○各自で評価規準を意識して練スピーチをスピーチの練習を行う。	(予想される生徒の評価規準) ・アイコンタクトをする。 ・身振り手振りをする。 ・下を向かない。	◆生徒から出た評価規準について、1つずつ具体的に説明を行う。	
3 スピーチを行う。			
○一人ずつスピーチを行い、終了後、次の発表者が Do you ~ ? を用いて英語で発表者に質問する。	○ワークシートを配布し、全員の評価を行うとともに、肯定的評価を記述式で書かせる。 スピーチ例 I am () . I am thirteen. I like English. But I don't like math. I play baseball. I play baseball every day. I love carp.	◇自分の好きなこと嫌いなことについてスピーチを意欲的に行う。(観察) ◇他者のスピーチについて、英語を用いて質問を行っている。(観察) ★作成した自己紹介文を作成した評価規準に従って、正しくスピーチを行うことができる。(表現力) ◆スピーチしにくい生徒には、少し見ながら言っても良いとアドバイスする。 ◆質問しにくい生徒には、そばについて、助言する。	
7分	○振り返り活動を行う。	○ワークシート・自己評価カードに授業の振り返りを書く。	